

# Study of Nucleon Induced Reactions on Lithium-6,7 with Continuum Discretized Coupled Channels Method

郭, 海瑞

<https://hdl.handle.net/2324/1470619>

---

出版情報：九州大学, 2014, 博士（理学）, 課程博士  
バージョン：  
権利関係：やむを得ない事由により本文ファイル非公開（2）

氏 名	郭 海瑞		
論 文 名	Study of Nucleon Induced Reactions on Lithium-6,7 with Continuum Discretized Coupled Channels Method (連続状態離散化チャネル結合法を用いたリチウム 6,7 に対する核子入射反応の研究)		
論文調査委員	主 査	九州大学	教授 渡辺 幸信
	副 査	九州大学	准教授 片山 一成
	副 査	東京工業大学	教授 千葉 敏

### 論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本論文は、リチウム同位体 ( ${}^6\text{Li}$  及び  ${}^7\text{Li}$ ) の核子入射原子核反応に対し、リチウム同位体の分解過程を考慮可能な連続状態離散化チャネル結合法を用いて、核子弾性・非弾性散乱及び三重陽子生成反応の系統的な解析を行い、使用する有効核子核子相互作用の入射エネルギー依存性を決定し、その反応機構を定量的に明らかにしたものであり、原子核物理の発展に寄与するところが大きい。よって、本論文は博士（理学）の学位論文に値すると認める。